

2020年11月6日

各位

会社名 株式会社インターワークス
 代表名 代表取締役社長 松本和之
 (コード: 6032 東証第一部)
 問合せ先 経営企画部部長 松留武二
 (電話 03-6823-5404)

通期業績予想に関するお知らせ

2020年5月22日に公表いたしました「令和2年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」、ならびに2020年8月3日に公表いたしました「2021年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました、2021年3月期の通期連結業績予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 -	百万円 -	百万円 -	百万円 -	円 銭 -
今回修正予想(B)	1,820 ～2,080	△400 ～△220	△350 ～△170	△370 ～△130	△38.02 ～△13.36
増減額(B-A)	-	-	-	-	-
増減率(%)	-	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	3,147	124	122	45	4.73

2. 業績予想の理由

2021年3月期の業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大が業績に与える影響を合理的に算定することが困難であったことから、未定としておりました。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言は5月下旬に解除され、国内の経済活動は段階的に再開されているものの、依然として先行きは不透明な状況で推移し一定のボラティリティが残存しており、業績に与える影響の度合いを精緻に予測することは困難なことから、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、通期業績予想につき、レンジでの公表をいたします。

なお、当社事業を取り巻く環境についても、主要顧客である製造派遣業界・メーカー等、各市場における経済活動および労働市場の停滞により、第2四半期連結累計期間においては主力事業であるメディア&ソリューション事業を初めとして業績について厳しい状況が継続していましたが、第3四半期連結累計期間以降については、第2四半期連結会計期間後半以降の景況感の回復に伴い、特にメディア&ソリューション事業においては営業業績を拡大する見通しであります。しかしながら、当期中に感染拡大以前、もしくは完全収束の水準への状況回復までには至らない見通しではあり、2021年3月期の業績予想については、減収減益の予想となりました。

また、未定とさせていただいております今期の配当予想につきましては、現時点において通期業績予想を精緻に行うことが困難であること、ならびに当年度を通じた業績状況について新型コロナウイルス感染拡大という特殊要因の影響が大きいことにより、当該状況を踏まえた配当の方針については検討中でありますことから、引き続き未定とさせていただきます。配当方針の決定次第、速やかに開示いたします。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる可能性があります。

3. 決算説明会の中止について

新型コロナウイルスの感染拡大の防止および安全確保のため、2020年11月に開催を予定しておりました2021年3月期第2四半期決算説明会（機関投資家・アナリスト向け）を中止することにいたしました。本決算説明会へのご参加を予定してくださいました皆様には大変申し訳ございませんが、ご理解いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、決算説明会にて配布を予定していた資料は当社ホームページへの掲載を予定しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

以 上